

グラフでみる加工食品の 生産・販売、外食等の指標



目次

<グラフでみる生産販売統計>

1. 加工食品の生産動向
2. 食品卸売業・食品小売業
3. 外食産業
4. 食料品の物価

<今月のトピック>

- ・食品製造業、小売業、サービス業の海外展開



1. 加工食品の生産動向

食品需給研究センターでは、食品製造業の月次生産動向について、調査・分析業務（農林水産省「食品産業動態調査」）として実施しています。

ここでは、加工食品のうち、特コロナ禍で変動の大きい品目の生産動向（増減率、速報値）についてとりあげます。

なお、詳細は、<https://www.fmric.or.jp/stat/index.html>

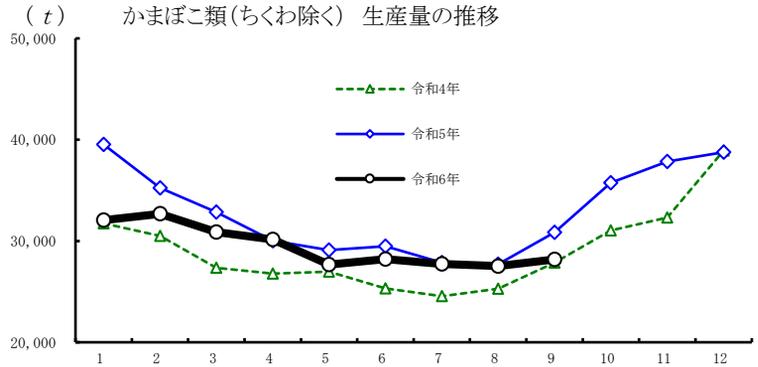
「食品製造業の生産動向」をご覧ください。

○ かまぼこ類

生産量 対前年同月比

10月 4.1% 減少

令和元年同月比 **2.8% 減少**

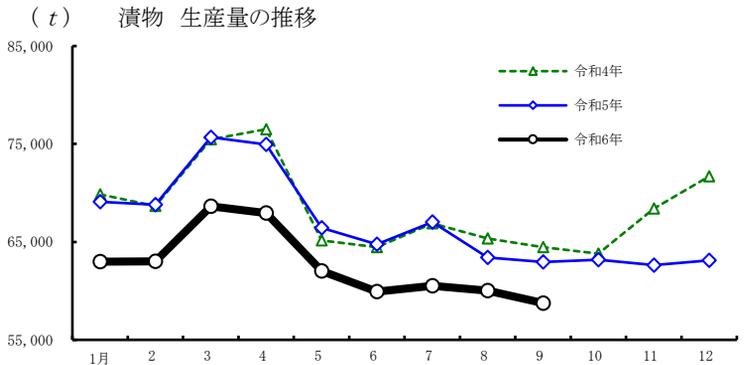


○ 漬物

生産量 対前年同月比

10月 5.6% 減少

令和元年同月比 **0.8% 減少**

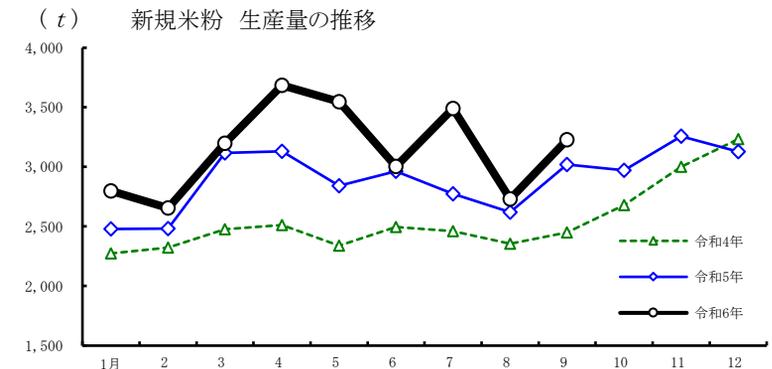


○ 新規米粉

生産量 対前年同月比

10月 19.7% 増加

令和元年同月比 **57.5% 増加**

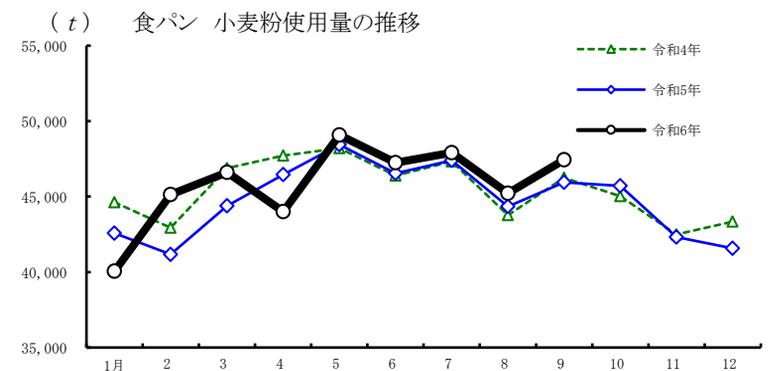


○ 食パン

小麦粉使用量 対前年同月比

10月 2.1% 減少

令和元年同月比 **10.4% 減少**



1. 加工食品の生産動向

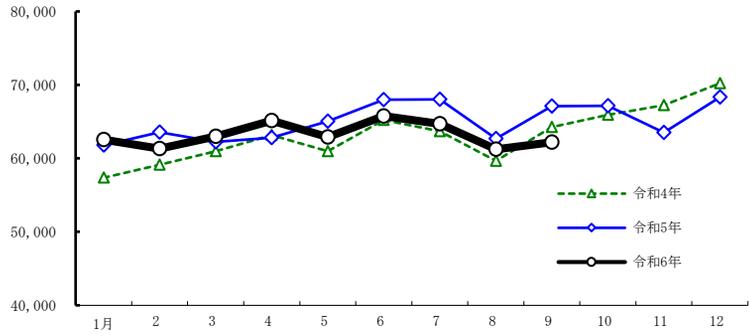
○ 生めん類

小麦粉使用量 対前年同月比

10月 6.2% 減少

令和元年同月比 6.6% 増加

(t) 生めん類 小麦粉使用量の推移



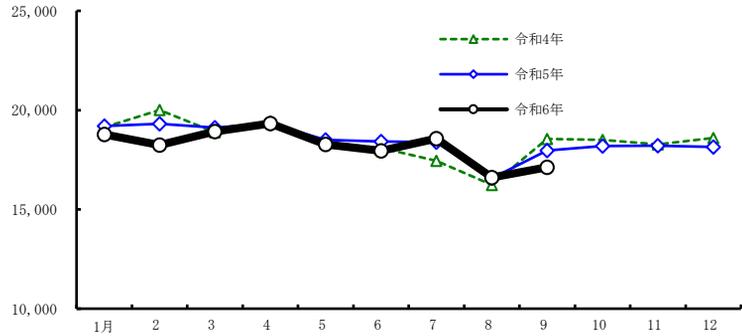
○ 即席カップめん

小麦粉使用量 対前年同月比

10月 4.5% 減少

令和元年同月比 7.0% 増加

(t) カップめん 小麦粉使用量の推移



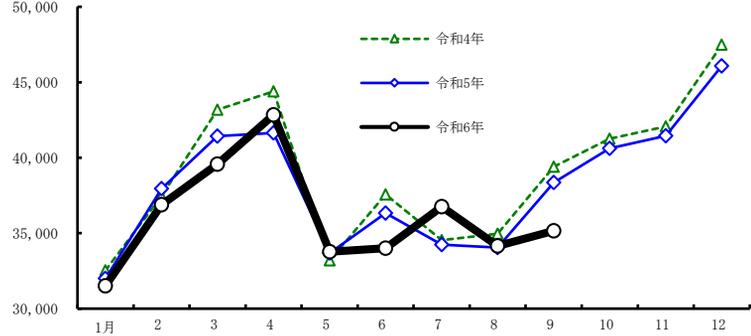
○ 味噌

生産量 対前年同月比

10月 3.4% 増加

令和元年同月比 4.1% 減少

(t) 味噌 生産量の推移



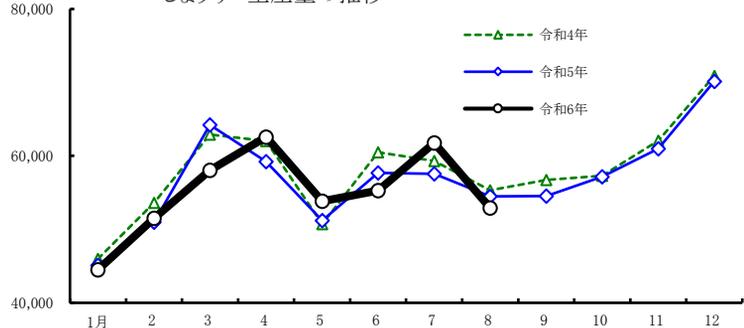
○ しょうゆ

生産量 対前年同月比

9月 2.0% 減少

令和元年同月比 10.5% 減少

(kl) しょうゆ 生産量の推移



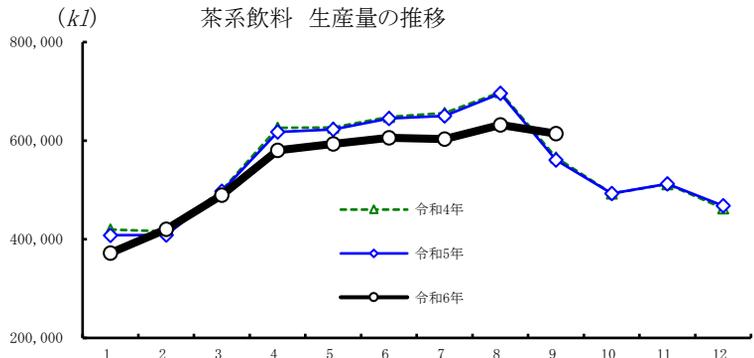
1. 加工食品の生産動向

○ 茶系飲料

生産量 対前年同月比

10月 6.1% 増加

令和元年同月比 2.6% 増加

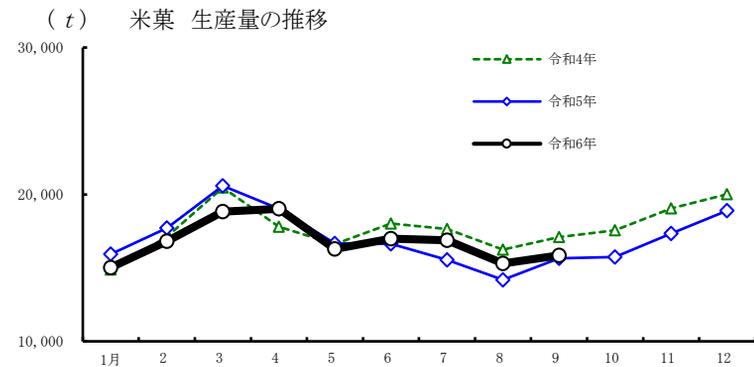


○ 米菓

生産量 対前年同月比

10月 5.9% 増加

令和元年同月比 9.8% 減少

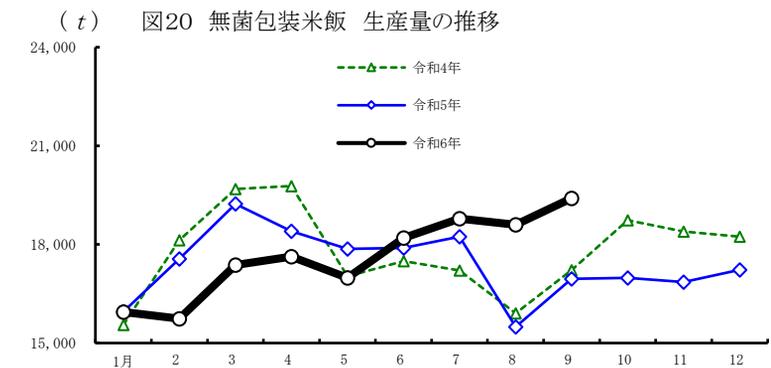


○ 無菌包装米飯

生産量 対前年同月比

10月 14.6% 増加

令和元年同月比 13.2% 増加

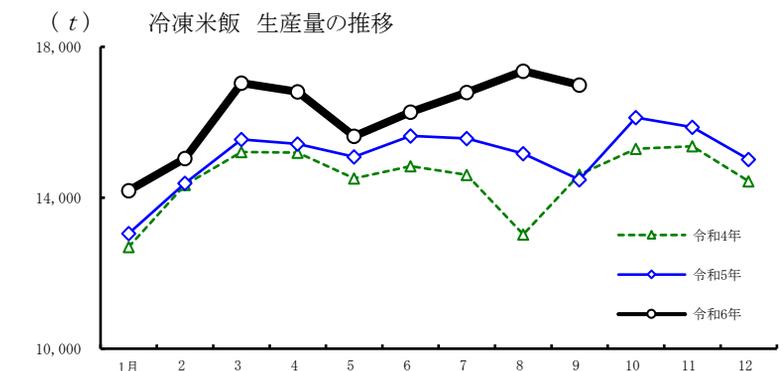


○ 冷凍米飯

生産量 対前年同月比

10月 16.8% 増加

令和元年同月比 16.1% 増加



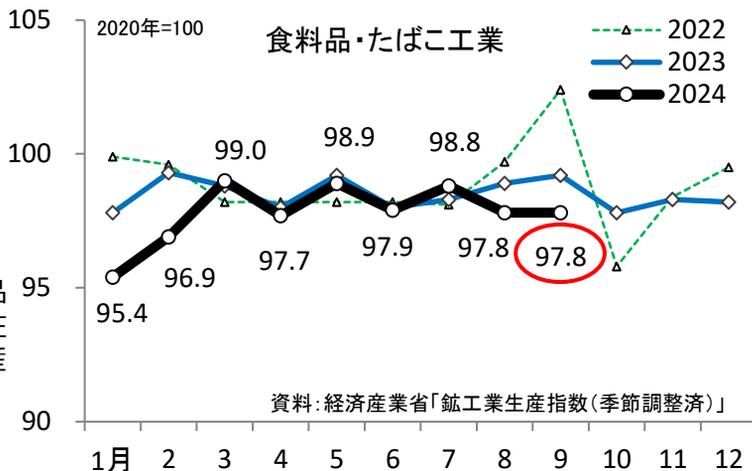
<参考> 食料品・たばこ工業の生産動向
(経済産業省「鉱工業生産指数」より)

○ 食料品・たばこ工業

生産指数 対前年同月比

9月 1.4% 減少

※経済産業省「鉱工業生産指数」は、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動の統計。食品製造業の月次の生産動向について、みることができます。



2. 食品卸売業・食品小売業

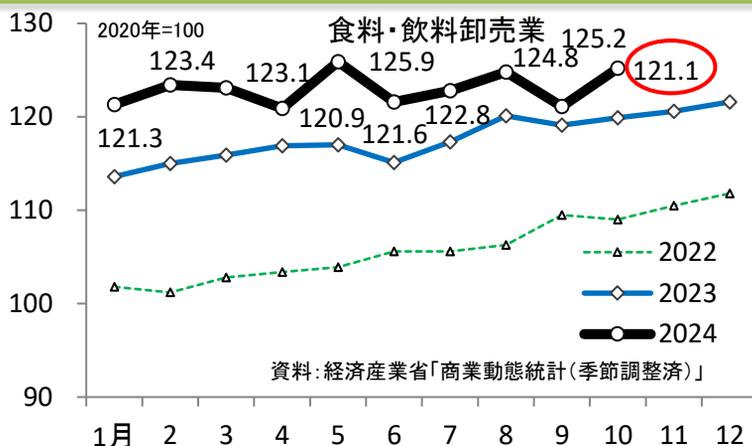
○ 食料・飲料卸売業

売上高 対前年同月比

10月 4.4% 増加

2019年同月比 20.7% 増加

経済産業省「商業動態統計」は、全国の商業を営む事業所及び企業の販売活動の統計。具体的には、卸売業、小売業及び小売業の業態別(スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の飲食料品都等の売上高(月次速報)について、みることができます。

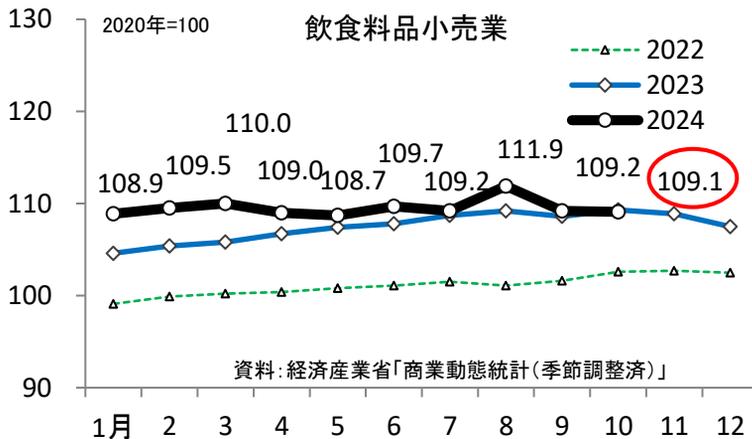


○ 飲食料品小売業

売上高 対前年同月比

10月 0.2% 減少

2019年同月比 1.0% 増加

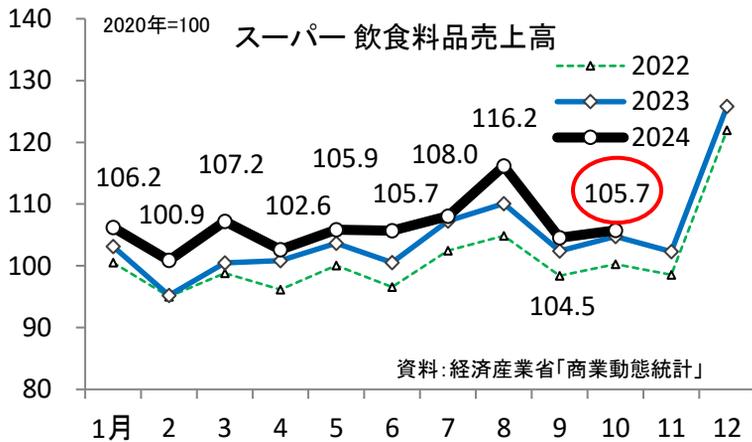


○ スーパー

飲食料品売上高 対前年同月比

10月 1.0% 増加

2019年同月比 32.2% 増加



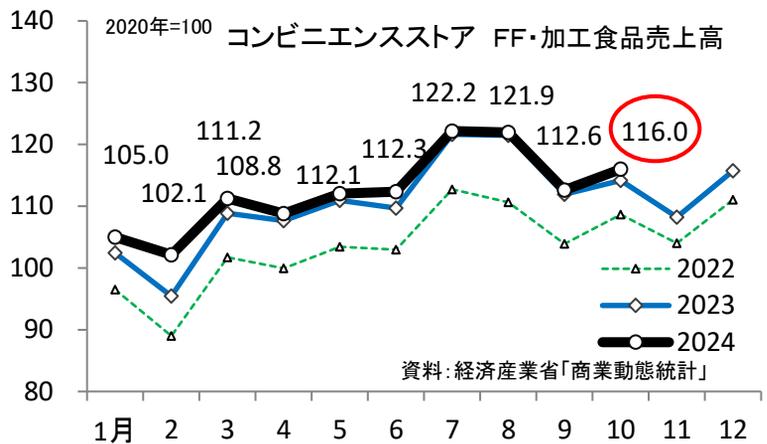
2. 食品卸売業・食品小売業

○ コンビニエンスストア

FF・加工食品売上高 対前年同月比

10月 1.6% 増加

2019年同月比 10.7% 増加

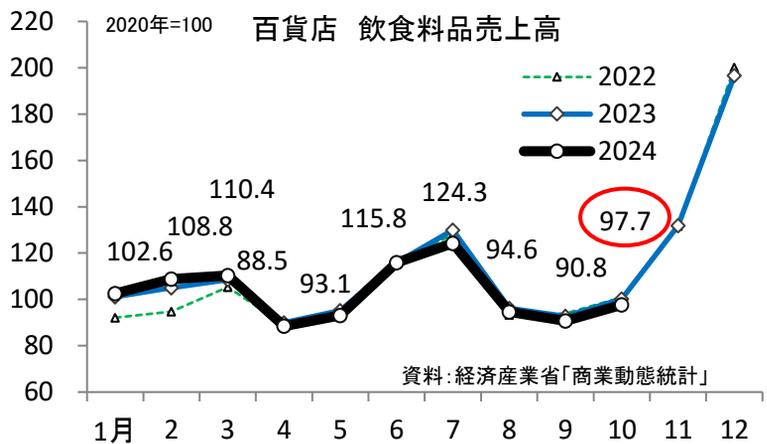


○ 百貨店

飲食料品売上高 対前年同月比

10月 2.5% 減少

2019年同月比 9.1% 減少



3. 外食産業

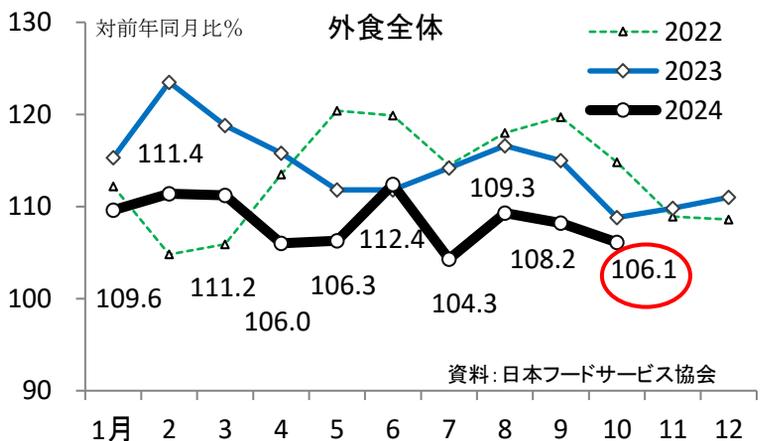
一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査」は、外食チェーン企業203社約3万9千店の売上高等についての業態別の統計。直近の売上動向がわかります。

○ 外食全体

全店売上高 対前年同月比

10月 6.1% 増加

2019年同月比 24.3% 増加



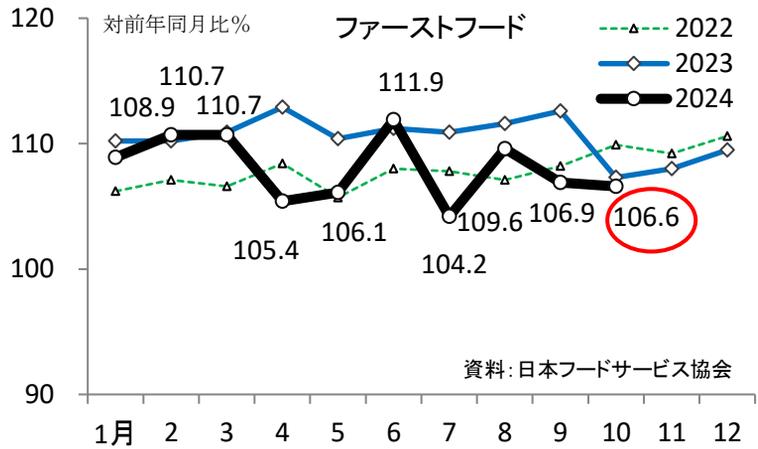
3. 外食産業

○ ファーストフード

全店売上高 対前年同月比

10月 6.6% 増加

2019年同月比 34.9% 増加

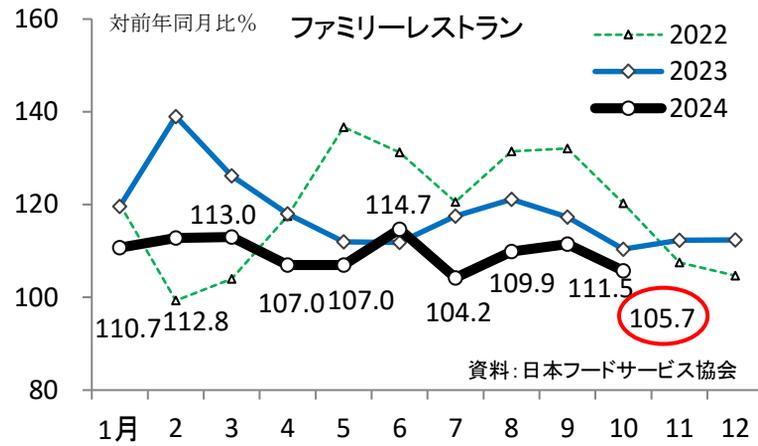


○ ファミリーレストラン

全店売上高 対前年同月比

10月 5.7% 増加

2019年同月比 19.8% 増加

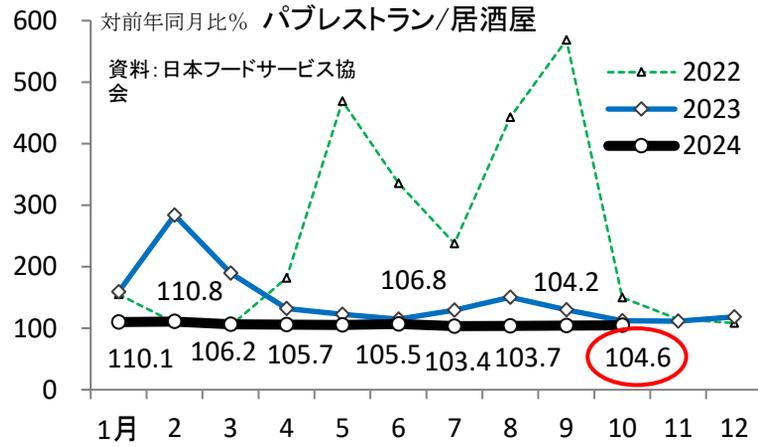


○ パブレストラン/居酒屋

全店売上高 対前年同月比

10月 4.6% 増加

2019年同月比 22.7% 減少

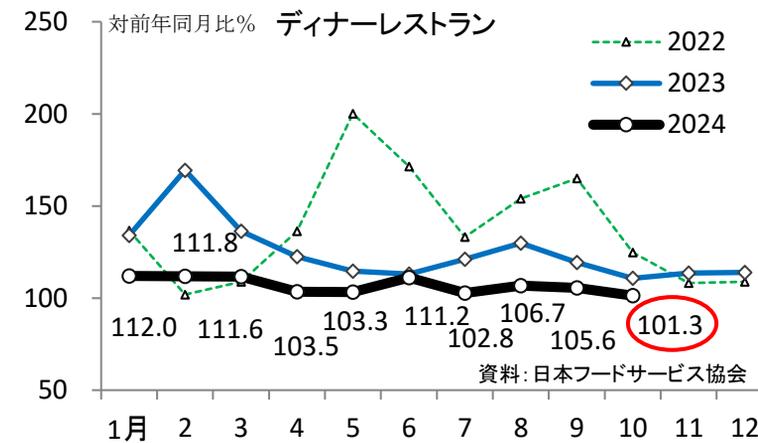


○ デイナーレストラン

全店売上高 対前年同月比

10月 1.3% 増加

2019年同月比 0.1% 増加



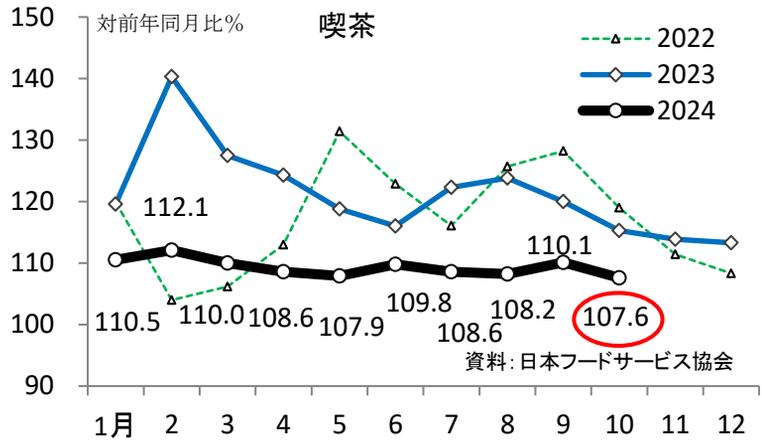
3. 外食産業

○ 喫茶

全店売上高 対前年同月比

10月 7.6% 増加

2019年同月比 12.5% 増加



4. 食料品の物価

○ 企業物価指数

企業物価指数は、企業間で取引される品質を固定した商品（財）の価格を継続的に調査し、現在時点の価格を、基準時点（2015年）の価格を100として、指数化したもの。

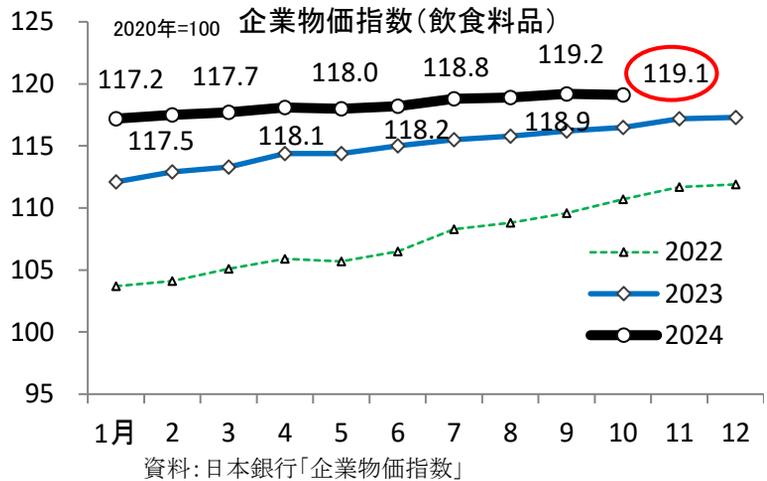
このうち、食品製造業（飲食料品）の出荷販売価格について、みることができます。

資料：日本銀行「企業物価指数」

○ 企業物価指数 (飲食料品)

飲食料品 対前年同月比

10月 2.2% 上昇



○ 消費者物価指数

消費者物価指数は、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格変動を総合的に測定し、物価の変動を時系列的に測定するもの。

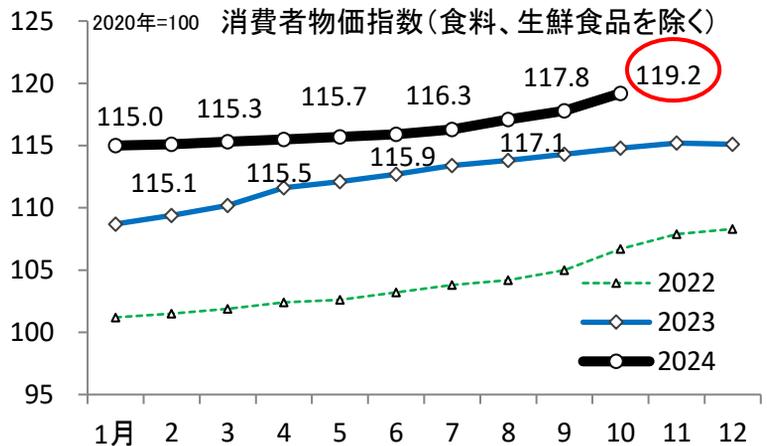
このうち、食料（生鮮食品を除く）について、みることができます。

資料：総務省「消費者物価指数」

○ 消費者物価指数 (食料(生鮮食品除く))

食料 対前年同月比

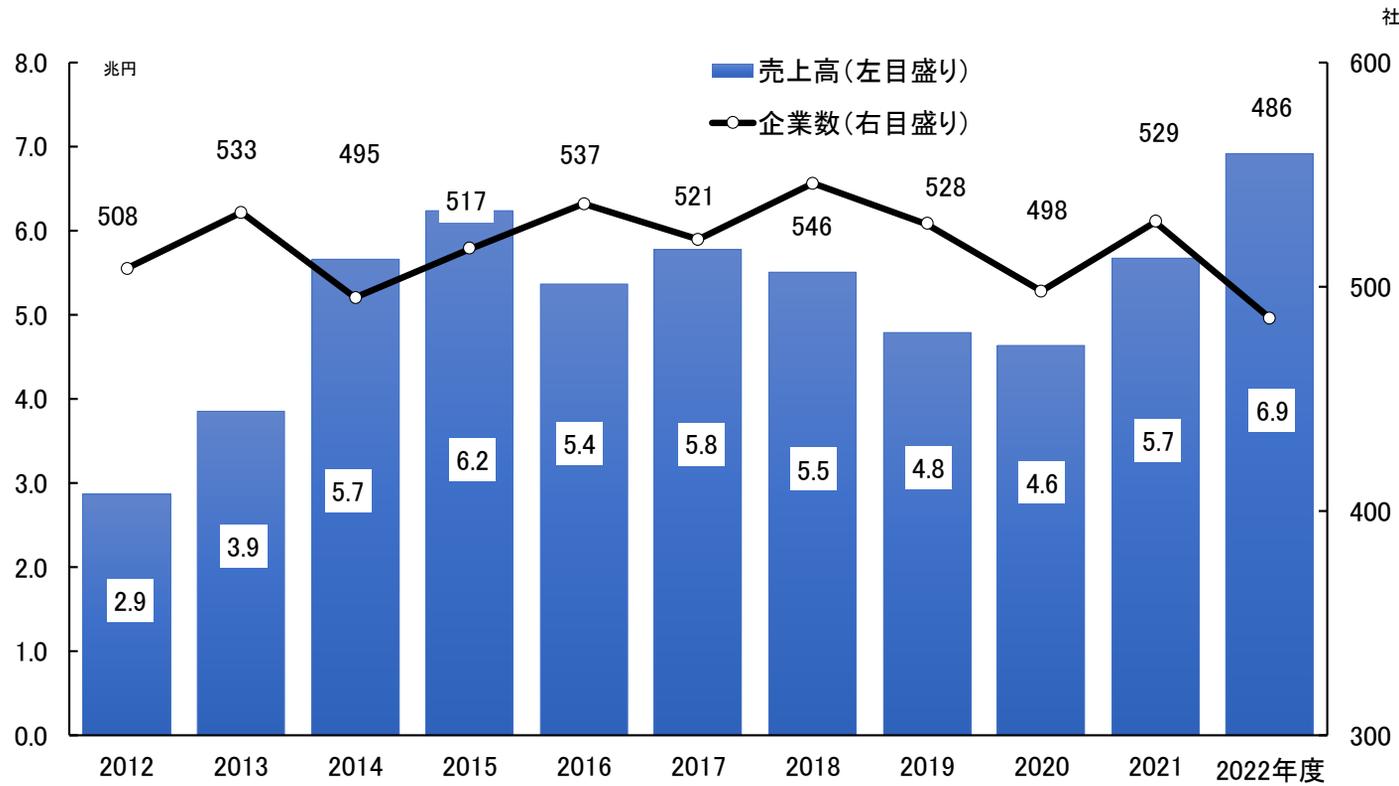
10月 3.8% 上昇



食品製造業の海外進出現地法人の売上高は、6.9兆円（486社）（2022年度）

2022年度の海外現地法人における食品製造業の企業数（回収数）は、経済産業省「海外事業活動基本調査」によれば、486社で前年度から減少している。また、合計売上高は6兆9千億円で対前年度比で大幅に増加している。一方、当期純利益は3,533億円で売上高当期純利益率は5.1%であった。

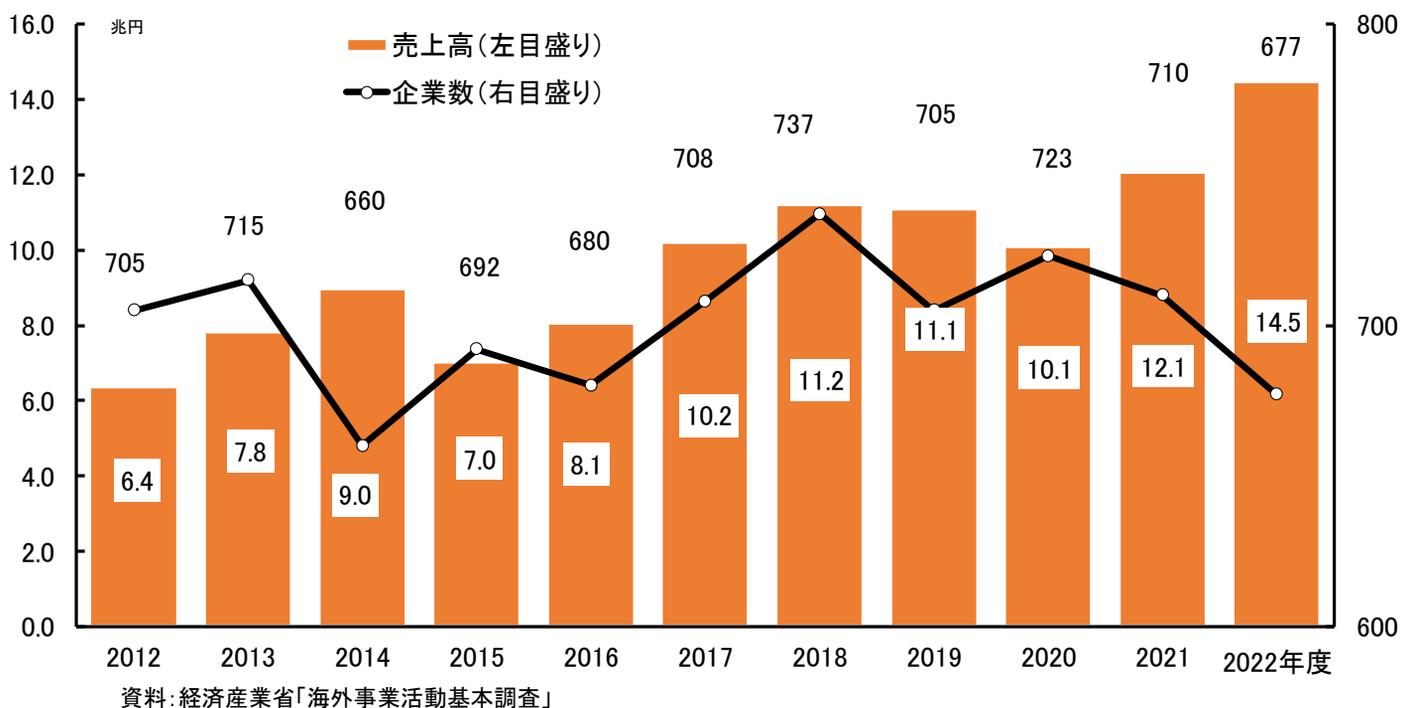
図1 食品製造業の海外現地法人の経営概要



資料: 経済産業省「海外事業活動基本調査」

小売業全体の海外進出現地法人の売上高は、14.5兆円（677社）（2022年度）
当期純利益は、1879億円で、売上高当期純利益率は1.3%

図2 小売業の海外現地法人の経営概要



サービス業全体の海外進出現地法人の売上高は、21.5兆円（2,497社）（2022年度）
当期純利益は、1億6428億円で、売上高当期純利益率は7.6%

図3 サービス業の海外現地法人の経営概要

